

# みなさまからいただいた水道料金は このように使われます

〔平成25年度 水道事業会計予算〕

四滴コラム  
・現在建設中の平ポンプ場と平第2配水池はいっしょに完成するのかな？

水道料金収入は、ほぼ東日本大震災以前の水準まで回復してきていますが、今後は給水人口の減少や節水意識の定着などにより、震災前と同様に減少傾向が続くものと予想されます。

このため、事務事業の簡素・効率化などの経費節減により一層努めるとともに、震災からの復旧事業を実施しながらも、老朽施設の更新なども計画的に実施するため、次のとおり予算を計上しました。

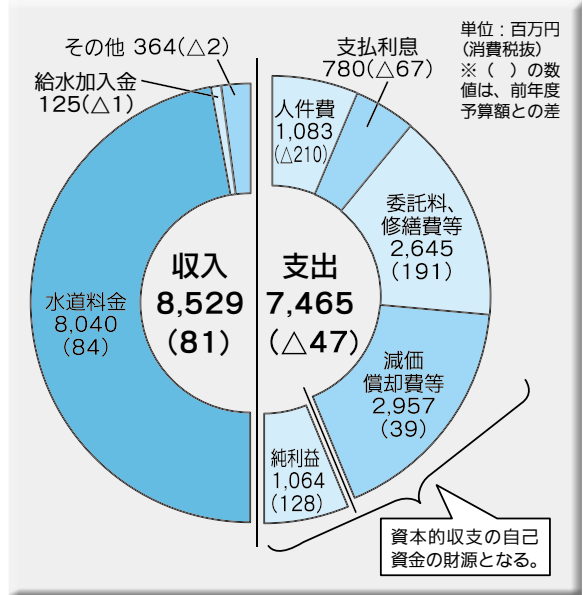
## 収益的収支

### 水道水をつくり、お届けするための収支

収入では、水道料金収入が、ほぼ東日本大震災以前の水準まで回復してきており、収入総額約85億2,900万円を見込んでいますが、回復要因の一部は震災に関連した一時的なものと見られることから、今後は震災前と同様に使用水量の減少傾向が続くものと考えられ、依然厳しい状況です。

一方、支出では、維持管理にかかる経費の削減に努めていますが、減価償却費などの増加により、前年度から約4,700万円程度の減少にとどまり、支出総額は約74億6,500万円を見込んでいます。

これにより、収入から支出を差し引いた純利益は、約10億6,400万円となる見通しです。



料金関係の業務を委託したことで人件費が減り、委託料が増えているよ。

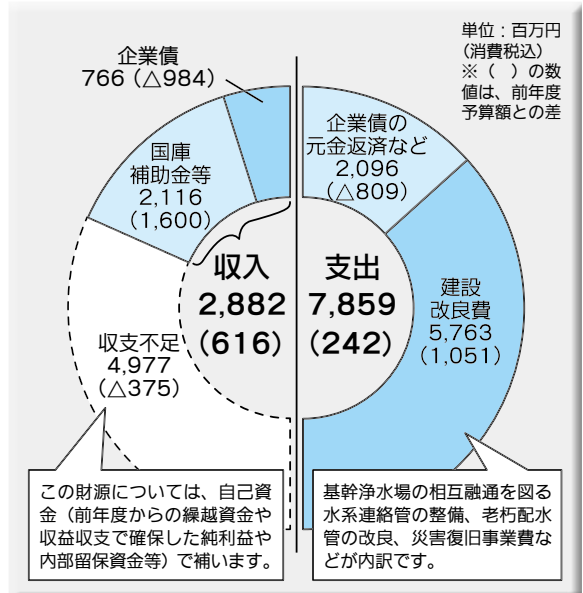
## 資本的収支

### 水道施設を整備するための費用と財源

平成25年度は、災害復旧のための費用として約11億2,100万円、水道施設の建設や老朽化した施設の改良更新のための費用として、約46億4,200万円を計上しています。

また、施設整備のため過去に借り入れた企業債の元金返済額は、約20億600万円となっており、支出総額は約78億5,900万円を見込んでいます。

これらの財源としては、国からの借入金や工事負担金のほか、災害復旧のための補助金など、総額約28億8,200万円の収入を予定しており、残りの約49億7,700万円については、自己資金（前年度からの繰越資金や上記の収益的収支で確保した純利益や内部留保資金等）で補てんします。



ねーねーかっぱ君、建設改良費でお金がいっぱい使われてるよ。どんな事業なんだろうね？

それは大事なことだよね。こっちを見てみよう。



お問い合わせ先  
経営企画課財政係  
TEL 22-9313